

PIレポート等の構成イメージ

I. 滑走路延長の必要性

1. 北九州空港の概要

- ① **北九州空港ってどんな空港**
 - 設置経緯、滑走路長、路線、利用状況
 - 北九州空港の位置図、ネットワーク図
- ② **北九州空港は航空貨物の利用に特徴があります**
 - 貨物専用機が就航する空港（ANA、大韓航空のトピック）
 - 特殊貨物の輸送事例（生体馬、半導体製造装置等）
 - シー・アンド・エアによる輸送（人工衛星）
- ③ **北九州空港には航空貨物の需要が沢山あります**
 - 半導体産業、自動車産業等の産業集積
 - 背後圏域に発生集中する航空貨物の約8割は他空港を利用
 - 具体の貨物需要を紹介（現在働きかけている荷主の声など）
 - 将来の航空貨物量の推計

2. 北九州空港貨物拠点化に向けた課題

- ① **航空貨物を輸送するうえで滑走路長が不足しています**
 - 就航に必要な滑走路長が不足する路線、貨物搭載量制限の事例
 - 逸失貨物の状況（欧米、アジア）を紹介。航空会社、フォワーダーの声
- ② **航空貨物の受け入れに向けた機能拡充が必要です**
- ③ **不足する労働力確保への対応や低炭素社会の実現が求められています**
 - トラックドライバーの労働環境改善（働き方改革）
 - 長距離輸送に係るトラックドライバーの確保が困難
 - 社会的責任としてのCO2排出の削減

II. 滑走路延長の効果

1. 産業競争力の確保、輸送効率の改善

- ① **北九州空港からの航空貨物ネットワークが広がります**
 - 3000m化により期待される貨物路線（定期便・チャーター便）
 - 3000m化により期待される取り扱い貨物

- ② **目的地までの全体の輸送時間・コストが短縮されます**
 - 成田空港等の利用と比較した輸送リードタイムの削減効果
 - 生産工程の後ろ倒しが可能な効果
 - 成田空港等の利用と比較したトラック輸送費用の削減効果
- ③ **貨物輸送の輸送品質が向上します**
 - 輸送時の震動に配慮が必要な貨物に対する荷主のニーズ
- ④ **北九州空港の利用は既存の物流体系の問題点の改善に寄与します**
 - トラックドライバー不足に対応
 - トラックの輸送回転率の向上に貢献
 - 国民生活や産業活動に必要な物流機能の安定的な確保に寄与
 - 陸上輸送の短縮による CO2 の排出の削減効果

2. 新たな雇用創出と地域経済への支援、災害への対応

- ① **地域の雇用拡大に寄与します**
 - 北九州空港の貨物拠点化のイメージ
 - シー・アンド・エアによる新たな物流の例
 - 企業集積、雇用拡大に寄与
- ② **物流BCPの強化の点からも必要です**
 - 台風により冠水した関西空港（2018）により物流ルートが寸断された事例
 - 平時の物流ルートに北九州空港が加わることで、有事の際にも迅速な対応が可能（荷主の声）

III. 滑走路延長計画の妥当性

1. 滑走路延長方向や必要滑走路長の検討

- 滑走路の延長方向を南に決定した経緯
- 貨物専用機の運航に滑走路の 3000m化が必要な根拠

2. 空港施設配置計画

- 滑走路延長計画図
 - ※基本施設、附帯施設、航空灯火、航空保安無線施設等の計画概要
- 空港施設の配置計画に配慮した事項（空域、制限表面、航空機騒音など）

3. 整備工程計画と整備費用

- 整備工程計画（整備期間、工程短縮のための工夫点）
- 事業費
- 施設計画段階 P I 終了後の空港整備の流れ